

第1表 実験実習費

事 項	33 年 度	34 年 度
高 等 学 校 費	6,527千円	9,716千円
盲ろう学校費	18	11

第2表 実験実習費課程別配分表

事項	普通		農 業		工 業		商業		水産		家庭	
	通常	定時制	通常	定時制	通常	定時制	通常	定時制	通常	定時制	通常	定時制
理科	80~100	50	50		50	35	50	35	50	50	35	35
職業			240		500	355	100	65	320	120	85	

注 普通、通常課程の理科の配分比は生徒 1人当年間平均履修単位数が 5.0以上を 100円、4.3~4.9が90円、3.7~4.2が80円とする。

なお施行にあたって留意した点は次のとおりである。  
1, 電気, ガス, 水道等の光熱水費は一般所要量と區別しにくいので含めない, ただし鑄造用コークス, ガスコークスはこの限りでない。

2, 機械, 器具, 工具等の修理費は含めない。  
3, 対象は職業課程, 理科のみであって普通課程における「職業に関する科目」および「図画・工作」等の科目の実験実習は含めない。

4, 備品および消耗品の種目区分は, 概ね左の標準による(福島県財務関係諸規程, 告示第 5条を参照とすること。)

5, 福島県財務関係諸規程, 告示第 7条に示す物品, ただし実験実習を目的とする類似物品も含むので, 前記 4項を参照すること。

6, 各科の本年度予算費目は商業課程のみ消耗品費に文具費が含まれているので, その他の課程は消耗器材費のみであるから注意すること。

7, 実験実習は産業教育総合計画(第二次計画)の実験実習費の項目を参考とし, 本年度はできるだけ間接材料費に含む品名を購入すること, また数量もできるだけこれに準ずること。

実験実習費の予算化に伴い, 各高等学校, 盲ろう学校における実験実習は乾天に慈雨を得たように活潑化してきたことは論をまたないところで, 誠に慶賀にたえない。今後はその適正な執行をはかるとともに, 予算の増額を望んでやまない。

## 5 道徳教育・生活指導

### A 努力目標

県教委(学校教育課)の努力目標の主要な項目の一つとして次のようにかかげ, その徹底を期した。

### 道徳教育・生活指導の徹底

- 1, 学校教育全体を通しての人間尊重の精神の徹底
- 2, 道徳の時間における指導計画と指導方法の研究
- 3, 生活指導組織の整備と運営の改善
- 4, 個人理解についてくふうと問題児童生徒の指導の徹底

### B 道徳教育・生活指導関係通達

道徳教育ならびに生活指導に関する教育長通達のおもなものは, 次のとおりである。

- ◎春季全国交通安全運動の実施について(34・5・21)
- ◎夏期休暇中における児童生徒の指導および学校の管理について(34・6・30)
- ◎夏期休暇中における生徒等の就労について(34・7・14)
- ◎道路をまもる月間について(34・7・14)
- ◎秋季全国交通安全運動の実施について(34・10・1)
- ◎冬期休業中における児童生徒の指導および学校の管理について(34・12・8)
- ◎夜間課程生徒の下校時における警察官パトロールの強化について(34・12・3)
- ◎「新しい道徳教育のために」の刊行について一通知一(34・5・28)

### C 道徳教育・生活指導関係研究学校

昭和34年度県教委指定研究学校のうち, 道徳教育ならびに生活指導関係の研究学校は次のとおりである。なお研究成果は研究発表会を開催して, すでに公表し, あるいは公表を予定して進められている。

- a, 道徳教育一小学校
  - (1) 研究指定校  
二本松市立杉田小学校
  - (2) 研究主題  
「地域に即した道徳教育」
  - (3) 研究発表会  
35・2・11
- b, 道徳教育一中学校
  - (1) 研究指定校  
須賀川市立須賀川第三中学校
  - (2) 研究主題  
「中学校における道徳教育の研究」
  - (3) 研究発表会  
34・11・11
- c, 生活指導一高等学校
  - (1) 研究指定校  
四倉高等学校
  - (2) 研究主題  
「自主性を高めるための生活指導」
  - (3) 研究発表会  
35・1・22
- d, 生活指導一高等学校
  - (1) 研究指定校  
富岡高等学校
  - (2) 研究主題